

※各講座の詳細は千葉リハホームページに掲載しています。

イベント やります ▶

■第4回 子どもと家族の交流会 ▶▶▶▶▶

日時:2025年10月18日(土) 13:00-15:00

場所:千葉リハビリテーションセンター

対象:高次脳機能障害のある小学生・中学生と、ご家族(ご兄弟も参加OK)

内容:レクリエーション 当事者の体験談・交流会

■第22回 高次脳機能障害リハビリテーション講習会

日時:2026年1月17日(土) 13:00-16:00

場所:千葉県教育会館

対象:高次脳機能障害に関心がある方 どなたでも

内容:今号の表紙コメントを下さった上田先生に、ご講演いただきます。後半は当事者の方にもご登壇いただけるよう、企画中です。詳細はHP、SNSをチェックしてみてください。

主催 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター

第4回
子どもと家族の交流会のご案内

毎年、開催している当センター主催の小児交流会企画です。
小中学生を対象に開催しています。
ご家族皆様でぜひご参加ください。たくさんのご参加をお待ちしています。

2025年
10月18日(土) 13:00 ~ 15:00

◆当日の流れ

12:50~ 13:00~ 13:20~	受付 (集合:正面玄関待合い) レクリエーション (お子様 & ご家族様) お子様 : みんなで楽しく遊ぼう! ご家族様: 体験談を聞く&交流会 体験談: 「家族の体験談 〜学校生活を中心に〜」 話題提供者: 小学生のときに受障された当事者ご家族 終わりのあいさつ 解散
----------------------------	--

*ごきょうだいもお子様のグループ活動にご参加いただけます

◆会場 千葉県千葉リハビリテーションセンター
◆参加費 無料 (千葉リハまでの交通費は各自負担ください)
◆申込方法 以下のQRコードよりお申し込みください
締切り:10月10日(金)まで

右のQRコードを読み取りください ▶

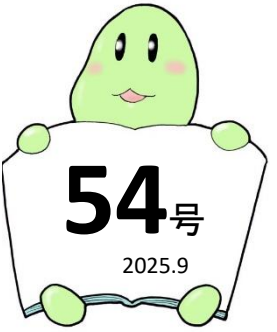
*本交流は、頭のけがや病氣により、後天性に頭の動きや行動に変化が生じたお子様とそのご家族を対象としています。

【注意事項】
・参加にあたり体温測定、消毒、マスクの着用の徹底をお願いします。
・欠席の場合は、必ず事前のご連絡をお願いします。
・天候その他の状況により、急遽研修会の内容変更や開催を中止させていただく場合があります。中止の場合は改めてお知らせいたします。

お問い合わせ先
☎043-291-1831
担当:総合相談部
土屋(英)、荒井



掲示板

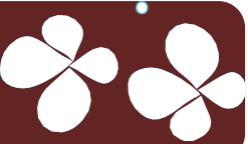


- 支援センターだより
- 全国の動き・イベント講習会報告

こ～じのう掲示板は千葉県千葉リハビリテーションセンターや千葉県、全国の高次脳機能障害に関する情報を紹介する広報誌です

菜の花メッセージ

菜の花メッセージは、高次脳機能障害支援にかかわる方々から、応援メッセージをいただき掲載しております。



『幸せの多様性』

京都光華女子大学
看護福祉リハビリテーション学部
教授 上田 敬太
うだ けいた



皆さんこんにちは。京都市にある京都光華女子大学(来年から共学化され京都光華大学となります)で言語聴覚士を育てる仕事をしています、上田と申します。もともと精神科医をしており、脳損傷後に生じる精神症状、認知機能障害などを専門にしてきた関係で、今の仕事に就くことになりました。

私はおそらくこれまで数百人の脳損傷患者さんの治療支援に携わってきました。そのなかで、最近考えていることが、表題の幸せの多様性、というものです。ポジティブ心理学という学問の創始者であるSeligmanによると、幸福は1ポジティブな感情、2何かに取り組み夢中になること、3良好な人間関係、4生きる意味・意義、5達成感の5つの要素からなるそうです。最近ではこう言った理論に基づき、自分の幸福度を数値化し、足りないものを明らかにし改善することで、より大きな幸せを目指す、みたいなこともはやりつつあります。

ただ私が気になるのは、このような「より大きな幸せを目指す」という考え方に潜む「マッチョな香り」です。筋トレのように幸せを目指すやり方、これはどうも、すべての人が「山頂を目指すべきである」といったマッチョな人向けの幸せ感ではないと思うわけです。「縁側でビールを飲みながら飼い猫のクロの頭をなでる幸せ」みたいなことは、ここでは幸せとして取り上げられません。

マッチョな人も、マッチョじゃない人も、それぞれに幸せを感じるような社会。そんなことを考えている今日この頃です。



◀ 改訂版ができました！

日頃の支援に活かせる、と好評いただいている「生活版ジョブコーチ支援ハンドブック」が、2025.7月に改訂されました。
「暮らしの自立のためのハンドブック」と改名し、支援者やご家族の皆様がより身近に感じられるように、見直しました。どうぞお手にとってご覧ください。



編集後記

今、千葉リハビリテーションセンターは絶賛建て替え工事中です。(セミの声と工事音がコラボする中、編集をしております。ちょっと耳がミンミン(?)します) 県のホームページで公開されている情報をみると、どうやら8階建てになるらしいです…！千葉リハにお越しの際は、工事の進捗状況を観察してみてください。

さて、今回のセンター長コスプレは、高層つながりでスカイツリーです。生き物以外にもなれちゃうんですね。(編集担当:K)



小道具でチケットも作りました

こ～じのう
掲示板

2025.9 vol. 54

発行日 ■ 2025年9月30日
発 行 ■ (社福)千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハリテーションセンター
千葉県緑区菅田町 1-45-2 TEL 043-291-1831 (代) 内 198
発行責任者 ■ 地域支援センター 高次脳機能障害支援部
部長 森戸 崇行 [高次脳機能障害支援センター]
<http://www.chiba-reha.jp/> ※ホームページからご覧いただけます





令和6-7年度 第12, 13, 14回千葉県脳損傷者運転支援連携会議

2025. 2. 7 / 5. 9 / 9. 5

Web開催

新たに3つの医療機関が加わり、21医療機関・職能団体が会議を運営しています。初めての対面（県庁）での開催となった第12回会議では、公安委員会（免許センター）より法令や手続きに関する講義と質疑応答が行われました。第13回会議では参加医療施設における取組みの報告、本会議運営に関するアンケート結果報告・意見交換が行われました。第14回会議では、旭神経内科リハビリテーション病院の取り組み紹介、千葉県版の運転データベースについて等の検討がなされました。当センターホームページ内に当会の活動概要等を掲載し、随時更新しております。

令和7年度 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

2024. 7. 2

Web開催

①「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業と政策研修の動向」と②「高次脳機能障害支援養成研修の実施」について話が主でした。①では、高次脳機能障害者の支援に関する法律案についての質問が多く出ていました。現在、国会で提案するところまでできているとのことでしたが、早く成立されることを期待したいところです。②では、高次脳機能障害支援養成研修について、各都道府県での取り組みの発表がありました。研修終了後のフォローアップ研修の実施や受講した方に次のファシリテーターをお願いをするなど、その場だけの研修にとどまらない取り組みをされていました。千葉リハで開催する際にも参考にしていきたい工夫でした。

令和7年度 第1回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議

2025. 7. 2

Web開催

今回は「医療から福祉への支援の流れ」というテーマで行われました。前半のシンポジウムでは埼玉県のリハビリテーション病院、障害福祉サービス事業所から高次脳機能障害と福祉の現状について症例を交えて発表があり、後半のグループ情報交換会では回復期病院退院後の障害福祉サービス利用について、現状や課題、課題を踏まえた対応について話し合いました。地域によって現状や課題が異なり、普遍的な支援の提供の難しさを実感しました。

令和7年度 県高次脳機能障害者ネットワーク担当者会 コーディネーター研修会

2025. 9. 16

千葉県庁

ハイブリッド開催

千葉県健康福祉課精神保健福祉推進班の担当者1名と千葉県の支援拠点機関4病院の支援コーディネーターが集まり実績や取り組みの共有、情報交換を行いました。昨年度各拠点が力を入れたこととして、高次脳機能障害支援者養成研修の実施や各拠点の地域支援者・当事者・家族との交流強化等の話題が挙がりました。今年度の取り組みとしては、当事者・家族の交流会、広報啓発活動、地域リハ広域支援センターとの協働、高次脳支援スタッフの人材育成、就労支援に関する意見交換会の開催など話し合われました。続く研修会では、拠点から1事例ずつ出し合って検討しました。地域の特徴を活かした支援はもちろん、他地域の資源・その活用方法も共有できて充実した研修でした。

旭神経内科リハビリテーション病院

今年度より、当院のホームページをリニューアルしました。高次脳機能障害支援普及事業のページもより見やすく、情報を探しやすい構成となるよう改善しました。支援の流れだけでなく当院が関わっている当事者・家族会のお知らせも掲載させていただいています。今後も、支援を必要とされる方に情報が届きやすいように随時更新していく予定です。外部向け講習会として、今年度は「高次脳機能障害 当事者の生きる世界と医療従事者に望む支援」をテーマに2025年12月3日にオンラインでの開催を予定しています。事前に講師の方への質問を募り、当日はより参加される方が聞きたい内容となるように準備を進めています。詳細はホームページにも掲載予定です。



亀田リハビリテーション病院

6月21日、当院にて高次脳機能障害当事者・家族会を開催しました。大変盛況で予定していたレクリエーションに行きつかず、参加者同士が語り合う貴重な時間となりました。入院中の方も参加され、支援者との新たなつながりも生まれました。次回は9月20日を予定しています。写真は、高次脳機能障害の方も含んだ入院患者様が園芸に取り組む様子で、リハビリテーションの一環として、心身のリラックスに繋がっています。

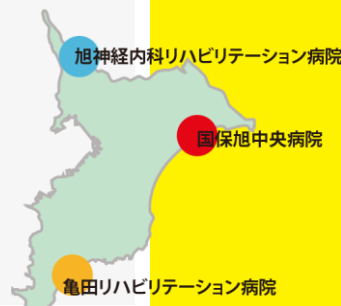


総合病院 国保旭中央病院

7月令和7年7月19日(土)に今年度1回目の『高次脳機能障害 当事者・家族・支援者交流会』を開催しました。今回のテーマは、『高次脳機能障害のある方が活用できる社会資源』でした。当院の社会福祉士より精神保健福祉手帳や障害年金などについて、制度の概要や申請する際のコツなどを説明し、その後は当事者・家族・支援者毎にグループに分かれて交流や質疑応答の時間としました。参加者からは「社会資源の勉強をするのに良い機会だった。」「分からなかったことが解決できて良かった。」などの声を頂きました。



今年度2回目は12月にドキュメンタリー作品の上映会を計画中です。今後も当事者・ご家族同士の交流、支援者事業者の方々との情報共有の場となるようにしていきたいと思います。





高次脳機能障害支援センターの近況や支援活動などを報告します。

高次脳機能障害 地域支援者向け連続講座

Web開催

毎年好評の両企画、今年度はどちらも
Web(オンデマンド配信)にて実施！



【地域支援者向け連続講座】

初めてのオンデマンド配信を企画したところ、なんと500名を超える方からのお申込みを頂きました。「遠くてなかなか参加できなかったのが嬉しい」「内容が良いので、他県とも連携して全国的にこの研修が受けられるように広めて下さい」など、身に余るコメントも頂きました。嬉しいです～！

【当事者家族勉強会】

昨年度に引き続き、「当事者・家族」以外にも対象を広げたところ、多くの支援者の方からもお申込みがありました。「高次脳機能障害をピラミッド構造で整理し、脳機能の回復や支援の優先順位を示し、下層から順に積み上げることで、より正しい対応方法が導き出せることがわかりました」「家族がどのようなサポートを行うべきかのヒントをいただきました」等のお声をいただきました。次年度も広く皆様に提供できるよう、準備をしていきたいと思ひます。

当事者・家族のための 高次脳機能障害勉強会

Web開催



青年期家族グループ：障害者職業センター見学会開催！

学校を卒業したら、うちの子どうなるの？という不安や疑問に応える「青年期家族グループ」今年度第1回は、就労に関するプロ集団、「ちば障害者職業センター」にお邪魔してきました！

職業センターって
こんなところだす



▼同じ建物の
1階がハローワーク
4階が職業センターです



▲準備訓練を体験しました

初めての方も含め、8家族9名の方にご参加頂き、千葉障害者職業センターさんを見学させて頂きました。初めに就労に向けてどのような支援が受けられるのか説明を聞いた後、職業準備支援の部屋で実際に作業支援で行っている「ピッキング作業」を体験させて頂きました。また高次脳機能障害の方向けの工夫なども紹介して頂き、充実した時間となりました。アンケートでは「就職する前に支援を受けられる場所を知ることができてよかった」「選択肢の一つとして大変参考になった」「機会があったら活用したい」「本人とも少しずつ話をしていきたい」等の感想を頂きました。

第1回 家族のつどい

参加者も徐々に増え、今回は15名の大所帯に！親グループと配偶者グループに分かれる設定で運営しましたが、どちらも「同じ立場の者同士」で大変盛り上がり、共鳴されている姿が印象的でした。



小児家族グループ

参加者は5名、今回は特別支援学校のコーディネーターの先生から「進路選択について」というお話を頂きました。新しい情報を知ることができた、去年の悩みと今年の悩みの違いから、子供の成長を感じた等の声がありました。



青年期当事者グループ

参加者は3名で、初参加の方も来て下さいました。まだ就労経験のない若い皆様が集まり、千葉リハ内の実際の仕事を体験します。大変だったけどやりがいがあった、との声をいただき、働くことの第1歩が体験できたかなと思います。





市原地域リハビリテーション広域支援センター主催 ちーき会
「見えない障害」に気づく力
～困りごとが見えにくい、高次脳機能障害との関わり方～

2025.7.18 18:30-19:30 市原市市民会館



ちーき会とは、市原市内の地域住民や医療・介護・福祉に関わる全ての人達との顔の見える関係づくりを目指して開催している地域の集いです。今回ご講演を頂き、市原市内の様々な職種の方が参加されました。市原市内で関心があり、課題にもなっている内容なのだと感じました。参加者からは「事例を通した具体的な対応方法を知ることができてよかった」、「(支援拠点機関に)『相談して大丈夫なんだ』という気づきを得た」といった声があり多くの反響が寄せられました。グループワークも活発でとても良い会になりました、ありがとうございました。
(記:主催/市原地域リハビリテーション広域支援センター:リハビリテーション病院さらしなご担当者様)

千葉リハビリテーションセンター就労PJ主催
カフェ輪駆

2025.7.26 10:00-12:00 千葉リハビリテーションセンター



就労PJでは、働く当事者の交流の場として年3回カフェ輪駆を開催しています。7月26日に第1回を実施し、20～60代の22名が参加されました。前半はレクリエーション、後半はグループに分かれて交流会を行いました。交流会では、仕事・悩みや対処法・健康・家族・趣味等について活発に情報交換がなされ、2時間があっという間に感じられました。アンケートでは、「他の人の話が聞けた」「自分のことを聞いてもらえた」との意見が多く、当事者が集う機会としてカフェ輪駆の意義を感じました。(記:千葉リハ運営スタッフ)

山武長生夷隅圏地域リハビリテーション勉強会
高次脳機能障害 暮らしの自立に向けた支援
～生活版ジョブコーチ支援の考え方と実践～

2025.8.22 18:30-20:30 季美の森リハビリテーション病院



今回の地域リハビリテーション勉強会は、事例検討会に加え、生活版ジョブコーチ支援の講演を組み合わせて開催しました。保健・医療・介護の幅広い専門職等の方々にご参加いただき、「これからの活動に役立てたい」との感想を数多くいただきました。自立支援に活かせる可能性を強く感じていただけたようで、なかでも声かけの工夫はすぐに実践に活かされると好評でした。事例検討会を通じて活発な意見交換がなされ、高次脳機能障害や認知症当事者への支援において、多職種連携が果たす役割の大きさを改めて感じていただけたようでした。
(記:主催/山武長生夷隅圏地域リハビリテーション広域支援センター:九十九里病院ご担当者様)

第21回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会
地域で、『つながる』高次脳機能障がい支援

2025.9.6 13:00-16:15 千葉県教育会館

講演「さまざまな『つながり』の中にある高次脳機能障がい支援」
～英国で神経心理学的リハビリテーションを学んだ作業療法士のはなし～
酒和会記念病院 作業療法士 大山 望 氏



シンポジウム 「高次脳支援拠点機関とつながろう」
～ともに考えよう地域の課題～ 各支援拠点機関 高次脳支援コーディネーター

講義では、高次脳機能障害の評価視点や生活支援にむけた「つながり」について、先生の英国での学びや豊富な経験を基に紹介されていました。さらに、千葉県高次脳機能障害支援拠点の担当者様が各拠点の紹介と実態を報告されており、地域特性は様々で必要な支援が異なるのが印象的でした。また回復期リハの支援者として、「目標は症状そのものを治すことではない」というのが刺激となる言葉でした。その人すべての要素を捉えた目標を立て、生活支援に繋げるためのきっかけづくりをする、という意識をもち支援していきたいと思いました。(記:参加者様)